

一般社団法人日本臨床検査専門医会 2024 年度 第 2 回理事会議事録

開催日時：2024 年 6 月 29 日（土曜日）9 時 10 分～10 時 10 分

場 所：紀南病院 紀南看護専門学校 2階会議室

出席者：〆谷理事長・山田副理事長・村上(庶務担当)・増田(会計担当)・田部・幸村・
鯉渕・尾崎・松下各常任理事
浅井・山田・山崎・北中・橋口各理事
東條・菊池両監事

欠席者：福地常任理事・藤井・植木各理事

事務局：大和田

定刻、理事の過半数の出席により、理事会の成立が確認され、〆谷理事長が議長となり開会を宣し議事に入った。

<報告事項>

1. 第 3 回年次大会の開催

尾崎大会長より挨拶があった。遠方にも関わらず役員の先生方に多く集まっていたことに謝辞を述べた。また、スタッフ一同協力して準備をし、無事開催を迎えられたことに感謝していると話した。

2. 各種委員会報告（2024 年 5 月以降に活動報告、事業計画に変更などがあれば）

1) 資格審査・規定改定委員会

田部委員長により、前回理事会での報告以降資料 1 に記載されている 3 名の入会審査をし、理事長承認を受けたと報告があった。2024 年度に入ってからの入会承認数は延べ 19 名となり、教育セミナーの開催効果と考えていると述べた。

2) 教育研修委員会

鯉渕委員長より、資料 2 にもとづき、まず教育セミナーの終了について報告した。専門医更新の単位として認定されると誤解された受講生（学会専門医既取得）が 1 名いたが、それ以外は特段問題無く終了した。続いて、初めての試みとして開催した受講者と合格者の集いについて報告した。受講者 23 名からの事前および当日の質問に対し、参加した合格者(5 名)、教育委員会委員(2 名)、理事(3 名)が回答をした。質疑応答の内容については、資料に示す通りであり、この内容は参加者並びに参加希望でありながら当日予定が合わず参加できなかった受講者にフィードバックのため配布した。理事の先生方も目を通していただきたいと述べた。また、教育セミナー受講者にアンケートをとり、その結果を添付資料にまとめている。特筆すべき点としてまず、配信期間が短いとの意見が多かった。近年 2

週間ほどの配信期間としているが、30日、60日等の希望が多く、こちらは予算との兼ね合いを調整しながら、検討をしていく必要がある。また、講義内容について一部辛辣な意見もあったが、限られた講義時間の中で必要な内容を伝えられていると判断しており、一部の受講者の「専門医試験受験に直結する内容」という観点から出た意見ではないかという印象を受けたと述べた。「つどい」の開催については好評であった。来年度も開催を前提に考えており、より受講者が質問のしやすい雰囲気作りを工夫したいと述べた。また、前回理事会で審議保留となっていた開催時期についてもアンケートをとったが、講師の選定の際に、試験委員、試験実行委員と被ってはいけないということを前提に、試験の時期と切り離して、秋に開催を提案してみたが、現状のままだという意見が一番多かった。もしくは、秋と翌春にも再度開催の希望という意見が多く、秋のみの開催は希望がなかった。この結果を受け、開催時期について委員会で話し合う予定だが、理事の先生方の意見も伺いたいと述べた。最後に、臨床検査医学会ワークライフバランス委員会主催、本会が共催をする「第一回医学生・研修医のための臨床検査セミナー」について、学会作成のチラシを資料として示し説明をした。現時点で、応募者が少ないため、理事の先生方の周囲に対象者がいた場合はお声掛けをお願いしたい。参加した専攻医にはプログラムに必要な単位が取得できるとの補足があった。

3) 広報ネットワーク委員会

尾崎委員長より、資料に基づき、まず振興協議会広報委員会で打ち合わせが進んでいる、「こども霞が関見学デー」に参加することについての報告があった。尾崎委員長と後藤委員の出務は確定している。その他、専攻医に参加協力を募る予定。レジデントノートの掲載については、あと1号分の執筆者が未定のため、理事の先生方でご紹介いただけるようであれば、主幹の後藤先生に連絡してほしい。本会ホームページの内容に関し、ジェンダーに関するアンコンシャスバイアスがかかっていると判断される可能性があることは前回理事会でも話した通りである。引き続き委員会で内容を検討していく。

4) 来年度以降の大会 HP 作成について

増田会計担当常任理事より、来年度以降の大会 HP 作成費用に関する提案をすることに至った経緯について、説明があった。今年度、業務を委託したJTBのホームページに係る費用はすでに150万円を超えており、他と比較してもかなり高いと思われる。また、更新のたびに高額な請求があるため、必要な情報をタイミングよくUPすることがままならない。そこで、今後の学術集会会長の負担を減らすため、学会として安価かつ使いやすい業者を選定し、ホームページに関しての運営側の負担を軽減することを目的とし、事務局が資料にある3社から見積もりをとった。費用を学会側が負担するか、大会側が負担するかなどの質問がでたが、50万円の準備金については現状のままである。大会によっては会長判断による業者選択も自由とする。選んだコンベンション業者に全業務を委託するのが理想ではあるが、このような選択もあるということで参考としていくことにとどめる。次回以降の会長は検討の材料としてほしい。

その他

5) 専門医会の保有する講演コンテンツについてのライブラリ化について

松下常任理事より、年次大会や教育セミナーでオンデマンド配信をして、記録が残されている講演について、内容の良いものが多いため、教育用に活用することはできないかという意見がでた。ライブラリ化して、専門医会のホームページに設置する。検討事項としては、編集の確認(個人情報のチェック、利益相反、引用の表示等)、不正使用の防止など。さらに、情報が更新されないため、長い期間の配信を望まない演者もいると思われるため、配信期間についても十分な検討が必要である。それを含め、大会長が講演者に予め許諾を得ることが必要となってくる。他学会で実施している単位取得のためのeラーニングとは異なり、教育を目的とする動画配信サービスとする。㇔谷理事長より、貴重な意見が提案されたため、費用も含め今後検討を重ねるようにとの発言があった。

<審議事項>

第一号議案 選挙委員会委員長・委員選出について

㇔谷理事長より、現理事が来年定時社員総会終了時であることが説明され、2025年-2026年度役員選挙を実施する選挙管理委員会の発足が下記の通り提案された。主な役割は選挙で選任する理事の人数、開票であり、そこにむかってスケジュールを組んでいただく。

選挙管理委員長：佐藤尚武先生 順天堂大学医学部臨床検査医学講座

委員：大谷慎一先生 北里大学医学部輸血・細胞移植学

委員：上蓑義典先生 慶應義塾大学医学部臨床検査医学教室

オブザーバー：菊池春人先生 済生会横浜市東部病院臨床検査科

本件につき、議長が議事に諮ったところ満場異議なく承認された。

以上をもって議事・報告の全てを終了したので議長は閉会を宣した。

以上、議事・報告事項について本議事録を作成し、出席理事長及び出席監事は次に記名押印する。

2024年12月28日

理事長 ㇔谷 直人 印

2024年10月6日

理事長 菊池 春人 印

2024年10月6日

監事 東條 尚子 印